

2022 年度全日本学生ヨット個人選手権大会

2022 年全日本学生シングルハンドレガッタ

共同主催	全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟
大会期間	2022年9月1日(木)～2022年9月4日(日)
開催地	愛知県蒲郡市海陽町1-7 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー
公認	公益財団法人 日本セーリング連盟 【2022-06】
後援	蒲郡市 中部ヨット協会 日本470協会 一般社団法人 日本スナイプ協会
特別協賛	日建・レンタコムグループ 日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社 日建片桐リース株式会社
協賛	明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会
協力	豊田自動織機 海陽ヨットハーバー 蒲郡・三谷温泉平野屋 株式会社丸玉運送 中部日本大学OBヨット連盟

【 レース公示 】

略語

「SP」レース委員会、またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これは規則 63.1 及び A5 を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

「NP」艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。

1. 規則

- 1.1 本大会は、「セーリング競技規則 2021-2024」（以下、『規則』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P の「セール番号」を「セール番号」もしくは「艇の識別番号」に置き換え適用する。これは規則 P1.2 を変更している。
- 1.3 付則 T が適用される。
- 1.4 SCIRA 規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2. 大会を管理する文書

- 2.1 本大会を管理する以下の文章は、全日本学生ヨット連盟にて入手できる。

<https://www.zennihon201809.com/>

- (1) 全日本学生ヨット連盟規約
- (2) 470級学連申し合わせ事項
- (3) スナイプ級学連申し合わせ事項
- (4) 艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項

3. 艇 装備 セール

- 3.1 1 チーム 1 艇とし各チームとも 1 艇の予備艇を認める。
- 3.2 セールは 1 チーム 1 セットする。なお、1 セットの予備セールを認める。

- 3.3 470 クラスについて、以下のとおりとする。
- ① 2022 年度団体登録を完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。
 - ② セールは基本計測が完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。また 470 協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。
 - ③ メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- 3.4 スナイプクラスについて、以下のとおりとする。
- ① 2022 年 SCIRA 登録が完了しかつ各水域での本大会の計測を完了していること。
 - ② スナイプクラスの今年度新調したセールは、2022 年の年計測を完了しかつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。また 2022 年 SCIRA に登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。
- 3.5 予備を含む艇は、受付時に交付される「艇の識別番号」を【添付図 A】にある位置に貼り付けなければならない。
- 3.6 予備艇使用は破損の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は各水域での本大会の大会計測を完了していなければならない。
- 3.7 両クラスとも同一のセール番号、識別番号を同時に複数の艇で使用してはならない。
- 3.8 セール交換は破損、紛失の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用するセールのセール番号は、元のセール番号と同一でなければならない。
- 3.9 競技者は、主催団体によって提供された、トラッキングシステムをその使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく実施しなければならない。
- 3.10 個人用浮揚用具（ライフ・ジャケット）は、最低規格 ISO 12402-5、または USCG Type III、または AS4758 LEVEL50 または同等の個人用浮揚用具を使用しなければならない。膨張式ライフ・ジャケットは認められない。

4. 広告

艇は、主催団体によって選択され、支給される広告を表示するよう要求されることがある。

5. 参加資格

- 5.1 470 クラス、スナイプクラスの 1 チームは、ヘルムス 1 名、クルー 2 名以内とする。
レーザージャギアルクラスは 1 名とする。
- 5.2 本大会は、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学の競技者が参加できる。
- 5.3 470 クラス、スナイプクラスの各水域推薦枠は次の通りとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿 北陸	関西	中国	四国	九州	開催 水域	合計
3	3	18	4	6	6	4	3	6	1	54

- 5.4 競技者は、以下の事項を満たしていなければならない。
- (1) 2022年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (2) 470クラスの競技者は、日本470協会の2022年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (3) スナイプクラスの競技者は、2022年SCIRA会員（Junior会員、Senior会員）であること。
会員区分については、（一社）日本スナイプ協会ホームページを確認のこと。
<https://www.scirajapan.com/>
 - (4) レーザージャギアルクラスの選手は、レーザークラス協会に登録済みであること。
 - (5) 参加チームの監督およびコーチは、2022年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
 - (6) スポーツ安全保険（人身・物損補償）相当の保険に加入していること。

6. 参加申し込み

6.1 470 クラス・スナイプクラス

参加資格を満たしたチームは、申込期日までに以下の手続きを完了させ、公示7に該当する参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。

(1) 【参加申し込みフォーム】の該当する参加申込書を完成させ送信する。

【参加申込書フォーム】

[参加申込書-1 一般事項申込フォーム](#)

[参加申込書-2 艇登録フォーム \(470. スナイプ共通\)](#)

[参加申込書-3 470 選手申込](#)

[参加申込書-4 スナイプ選手申込](#)

[参加申込書-8 搬入・艇搬出調査](#)

(2) から③の添付書類の画像を、大会ホームページからダウンロードできるEXCELファイルに貼り付け、PDFファイルに変換したものを電子メールで提出する。④については、PDFファイルにして提出する。

① 競技者、監督、コーチ全員が『2022 年度(公財)日本セーリング連盟』の会員であることの証左。

② 470 クラスは「INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM」の写し。

2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え「計測登録証明書」の写し。

③ スナイプクラスは「スナイプクラス計測証明書」の写し。

④ 各水域で実施する「大会計測証明書」

【参加申込期日】

2022年8月2日(火)19時 但し大会計測証明書のみ2022年8月31日(水)17時

(3) 申込期日までに公示6.1が完了していない場合は、2022年8月7日(日)17時までの提出に限り、レイトエントリー扱いとする。

【提出先電子メールアドレス】

chubu.icyf.alljapan@gmail.com

6.2 レーザーラジアルクラス

参加資格を満たしたチームは、申込期日までに以下の手続きを完了させ、公示7に該当する参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。

[参加申込書-1 一般事項申込フォーム](#)

[参加申込書-5 レーザーラジアルクラス選手登録](#)

[参加申込書-6 レーザーラジアル チャーター申込書](#)

【参加申込期日】

2022年8月2日(火)19時 但しチャーター申請は7月29日(金)19時まで

【レーザーラジアル艇のチャーターについて】

① レーザーラジアルのチャーターは先着10艇とし同一大学3名までのチャーターとする。

② オンラインでの申込み日含め2日以内にチャーター料の振込がない場合は、自動キャンセルされる。一度キャンセルされた場合で再申し込みした場合は、その時点での最後尾順位になる。これは特定の大学に偏らないようにするとともに、出来るだけ多くの選手が参加し易いようにするためである。

- ③ レーザーラジアルのチャーター状況については、常にオンラインで確認できるため、状況を確認して申し込みを行うこと。
- ④ キャンセルがあった場合は、申し込み順に繰上げを行う。なお、11 番目以降の申し込みについては、チャーターが可能となった連絡後、チャーター料の振込みを行うこと。
- ⑤ 自己都合のキャンセルに伴うチャーター料の返金は行わない。
- ⑥ 艇の引き渡しは、選手各自が海陽ヨットハーバーにて実施する。艇は、申し込み順にセール番号の新しいものより割り当てる。

6.3 支援者艇を使用する場合は、支援者艇申込期日までに【支援者艇申込フォーム】より送信し、支援者艇の船舶検査書の画像を電子メールで提出する。

【支援者艇申込書フォーム】

[参加申込書-7 支援者艇許可申請](#)

【支援者艇申込期日】

2022 年 8 月 29 日(月)17 時

【提出先電子メールアドレス】

chubu.icyf.alljapan@gmail.com

6.4 期日を過ぎてからの艇、セールまたは競技者の追加変更登録は、主催団体を納得させる合理的な理由を必要とする。

7. 参加料

(1) 参加料

470 クラス、スナイプクラス 20,000 円/1 艇 ※レイトエントリーの場合 30,000 円/1 艇
予備艇を登録する場合は、識別番号代として 1,500 円/1 艇を別途支払うこと。

レーザーラジアルクラス 10,000 円/1 艇

※チャーター料 9 月 2 日～9 月 4 日利用分のみ 12,570 円/1 艇

(2) 施設使用料

上記参加料には、9 月 2 日～9 月 4 日の給水設備使用料が含まれるが、大会期間中分を含めて豊田自動織機 海陽ヨットハーバーでの艇保管料は含まれない。艇保管料及び、上記期間以外の給水設備使用料、支援者艇関連費は、参加チームの責任でハーバー窓口にて手続きを行い支払うこと。

【振込先】

三菱 UFJ 銀行 松阪支店 店番 532 普通口座 0090143

口座名義 チュウブガクセイヨットレンメイ イシクラ トシヒロ

【振込者の入力】

振込は、大学名毎にまとめて振り込みをする。 例 ○○ダイ

8. 日程

8.1 本大会の日程は以下のとおりとする。

9月1日	(木)	受付(ZOOM)	12:00 ~ 15:30
		開会式(LIVE配信)	16:00 ~ 16:20
		競技説明(ZOOM配信のみ)	16:30 ~ 17:30
9月2日	(金)	ブリーフィング	9:30 ~ 9:45
		1日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	11:00
		スナイプクラス	11:07
9月3日	(土)	ブリーフィング	8:30 ~ 8:45
		2日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	10:00
		スナイプクラス	10:07
9月4日	(日)	ブリーフィング	8:30 ~ 8:45
		3日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	10:00
		スナイプクラス	10:07
		レーザーラジアルクラス	10:12
		レーザーラジアルクラス	10:12

9月4日に閉会式を実施する

8.2 本大会のレース数は、各クラス最大8レースを予定し各クラス3レースをもって大会成立とする。

8.3 1日に実施するレース数は、次のとおり計画する。

日 程	470クラス	スナイプクラス	レーザーラジアルクラス
9月2日(金)	3	3	3
9月3日(土)	4	4	4
9月4日(日)	1	1	1

8.4 計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない範囲でレースを前倒しすることがある。

8.5 9月4日は12:31以降に予告信号は発せられない。

8.6 受付は、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。受付は、どちらでも可能

【ZOOM ID:受付1】 ミーティング ID: 389 909 5063 パスワード: chubu

【ZOOM ID:受付2】 ミーティング ID: 523 609 5053 パスワード: chubu

8.7 9月1日の競技説明は、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID】 389 909 5063

【ZOOM パスワード】 chubu

8.8 ブリーフィングは、大屋根下で実施する。

9. 計測

- 9.1 参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、各水域で実施した「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けることがある。
- 9.2 本大会の事前計測は、2022年7月23日(土)以降に実施されなければならない。
「大会計測証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
- 9.3 テクニカル委員会が納得する合理的な理由がある場合に限り、各水域で出来なかった大会計測を会場地で行う場合がある。

大会で実施する計測料は、3,000円/1艇体、3,000円/セール1セットとする。

注意：この場合の合理的な理由とは、参加チームの責任ではない理由にて各水域で大会計測ができなかったことを指す。至近で艇体、セール等を購入し大会会場で受け取った場合や大会期間外の練習で破損した場合等は、合理的な理由とはならない。

10. 帆走指示書

帆走指示書は2022年8月7日(日)までに、大会ホームページに掲示する。

11. レース・エリア

【添付図B】は「レース・エリア」を示す。

12. コース

【添付図C】は、艇が帆走するコースを示している。

13. 得点

- 13.1 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし6レース以上完了した場合最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。これは規則A2.1を変更している。
- 13.2 規則90.3(b)に規定された失格(「DNE」)に対する得点は、参加艇数に5を加えた得点とする。これは規則A5.2を変更している。
- 13.3 掲示されたレースまたはシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして照会する場合、艇は帆走指示書のリンクにある『リクエストシート』を用いて照会することができる。
- 13.4 最優秀選手の選出において、470クラス、スナイプクラスで成立したレース数が異なる場合、艇の得点の平均値(小数点以下2位を四捨五入)を求め、少ない方を上位とする。
これでもタイとなった場合は、成立したレース数が多いクラスのヘルムスを上位とする。
成立したレース数が同じで得点がタイとなった場合は、規則A8を適用する。それでも解けない場合は、両クラスのヘルムスを最優秀選手とする。

14. 賞

賞は次のように与えられる。

順位	470クラス・スナイプクラス	レーザーラジアルクラス
優勝	小澤杯(持ち回り)、賞状、賞品	賞状、賞品
2位・3位	賞状、賞品	賞状、賞品
4位~6位	賞状	

470クラス、スナイプクラスの中で最少得点の選手(ヘルムス)には最優秀選手賞関山旗を授与する。

15 [DP] [NP] 支援者・支援者艇

15.1 海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、競技者と同様に公示 18 に従うこと。

15.2 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ使用が認められる。

- ① 支援者艇は水上にいる間『大学名を記した表示』を両舷から視認できるように掲示しなければならない。これらは、『艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項』に合わせた大学名の記載とし、A3 用紙サイズ以上の大きさを表示するものとする。また、これらは競技者により準備する。
- ② 支援者艇は、主催者が指定するグループ LINE に登録をするとともに毎日乗船する代表者の電話番号を登録しなければならない。
- ③ 支援者艇は、常時グループ LINE が確認できる状態にしていると共に登録した代表者の電話に出られるようにしなければいけない。
- ④ 主催団体が指定する西側棧橋以外に係留してはならない。
- ⑤ 支援者艇が乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い、使用料を支払わなければならない。その上で、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。

16. 責任の否認

この大会の競技者、支援者は、自分自身の責任で参加する。規則 3『レースをすることの決定』参照。

主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. 大会期間中の肖像権及び個人情報の公開

大会期間中の艇、競技者、支援者に関する写真、動画等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。参加申し込みにあたり提出された個人情報は、本大会の情報発信をするメディアを除き、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。

主催者の判断により、大会情報の発信のため、名前、所属、セール番号、学年、写真、動画が含まれる内容の記事や「エントリーリスト」「成績表」などについて、大会ホームページや SNS に掲載されることがある。

18. [DP] [NP] コロナウイルス感染予防対策

18.1 競技者及び支援者は、大会ホームページで入手できる「コロナウイルス感染予防対策について」に従わなければならない。

18.2 選手、支援者は、政府が公表する「新型コロナウイルス感染症対策」及び公示 18 を遵守すること。政府の公表情報は次のホームページから確認できる。<https://corona.go.jp/>

18.3 海陽ヨットハーバーの利用にあたっては、施設が指示する【新型コロナウイルスの感染拡大防止による施設利用の制限について】を遵守すること。これは、豊田自動織機 海陽ヨットハーバーのホームページで取得出来る。<http://www.aichi-koen.com/kaiyo/>

18.4 マスク等、感染対策に必要な物は、選手自身で準備すると共に海陽ヨットハーバー内及び支援者艇乗船時は必ず着用する。

18.5 大会前 2 週間以内にコロナウイルス感染もしくは疑いがある場合は大会に参加しない。これは、期間内に「濃厚接触者の新しい定義」に該当するものと接触し体調に異常を感じた場合も含まれる。

- 18.6 公式掲示で指示した場合は、選手および監督、コーチ、大会関係者以外は、大会が指定する海陽ヨットハーバーのエリア（選手が利用しているバース、スロープ）には入ってはいけない。
- 18.7 選手は、毎朝の健康状態を確認し「選手用健康チェックシート」をブリーフィングまでにオンラインにて提出する。
- 18.8 海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、来場日の朝の健康状態を確認し「支援者用健康チェックシート」を海陽ヨットハーバーに入所するまでにオンラインにて提出する。
- 18.9 海陽ヨットハーバー入所時は、体温測定と手の消毒を実施する。この結果、体調に異状がある場合は来場しない。
- 18.10 大会期間中にコロナウイルス感染の疑いがある場合は、主催団体に報告する。また、大会終了後2週間（9月18日）以内にコロナウイルス感染症状が発生した場合も所属する水域学連を通じ主催団体に報告する。
- 18.11 大会終了後2週間は、行動を記録し主催団体から要求があった場合は提出する。

[選手用健康チェックシート](#)

[支援者用健康チェックシート](#)

- 18.12 公示 18.5 に該当した場合であっても大会2週間前以降に症状が無くなり完治した場合や濃厚接触者を解除された場合、大会主催者に事前に『感染状況届出シート』を届け出たうえで8月30日以降のPCR検査の結果で陰性となり主催者が陰性を証明できれば、大会に参加できることが出来る。なお検査はPCR検査のみとする。

[感染状況届出シート](#)

19. 大会中止もしくは延期の要件

次の場合は、大会を中止もしくは延期することがある。

- (1) 全日本学生ヨット連盟の加盟校が活動する地域において日本国政府による緊急事態宣言が再宣言された場合。ただし、状況を確認し出場校が活動する地域などに影響が無いと判断された場合は、この限りでない。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関等より、愛知県において500人規模を上回る屋外イベントの中止依頼がされた場合。
- (3) 大会期間中に選手、関係者の新型コロナウイルス感染が発覚し大会参加者内で感染拡大が懸念されるとき。
- (4) 公的機関から大会中止の指示がされた場合。
- (5) 大会会長が、中止を判断したとき。
- (6) 大会期間中に大会が中止された場合でも、8.2項が満足された場合は、大会は成立する。

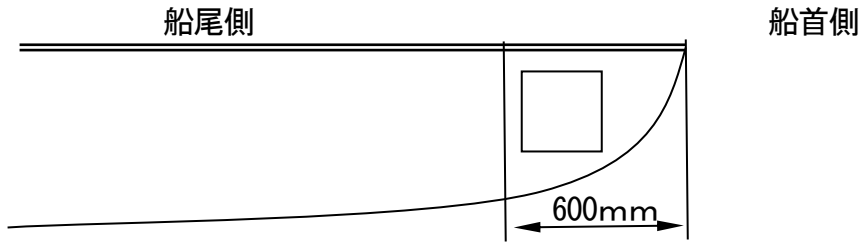
20. 問合せ先

本大会に関する問い合わせ先は、大会ホームページにあるリクエストシートにて行う。

[リクエストシート](#)

<https://www.zennihon201809.com/>

【添付図A】 「艇の識別番号」

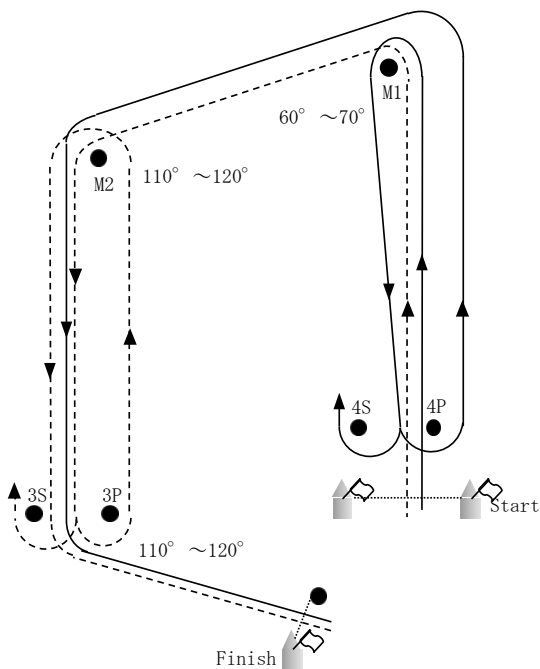


識別番号 470 クラス：黒 スナイプクラス：赤

【添付図B】 「レース・エリア」



【添付図C】 「コース図」



コース 0：破線

スタート → M1 → M2 → 3P/3S → M2
→ 3P → フィニッシュ

コース I：実線

スタート → M1 → 4P/4S → M1
→ M2 → 3P → フィニッシュ